

全国学力・学習状況調査の結果を活用した調査研究

学びと支えのシステムの確立をめざして ～大分県並びに委託三市教育委員会の取組～

VISION を PLAN へ



大分県教育庁義務教育課
学力向上支援班 後藤 栄一
宇佐市教育委員会
学校教育課 吉田 進

(本日のご報告の流れ)

大分県学校改善支援プラン(H19)

大分県の学力向上アクションの概要

学力向上支援サイクル

学力向上ステップアップ事業

学力向上支援システム

再委託先3市の取組

全国学力・学習状況調査への対応

宇佐市の取組

大分県の来年度構想

大分県学校改善支援プラン(H19)

- 1 全国平均の学力水準が確保されていない教科があること
- 2 特に小学校における各教科の調査結果が全国水準を下回っていること
- 3 地域間に学力の定着状況において差異が認められること

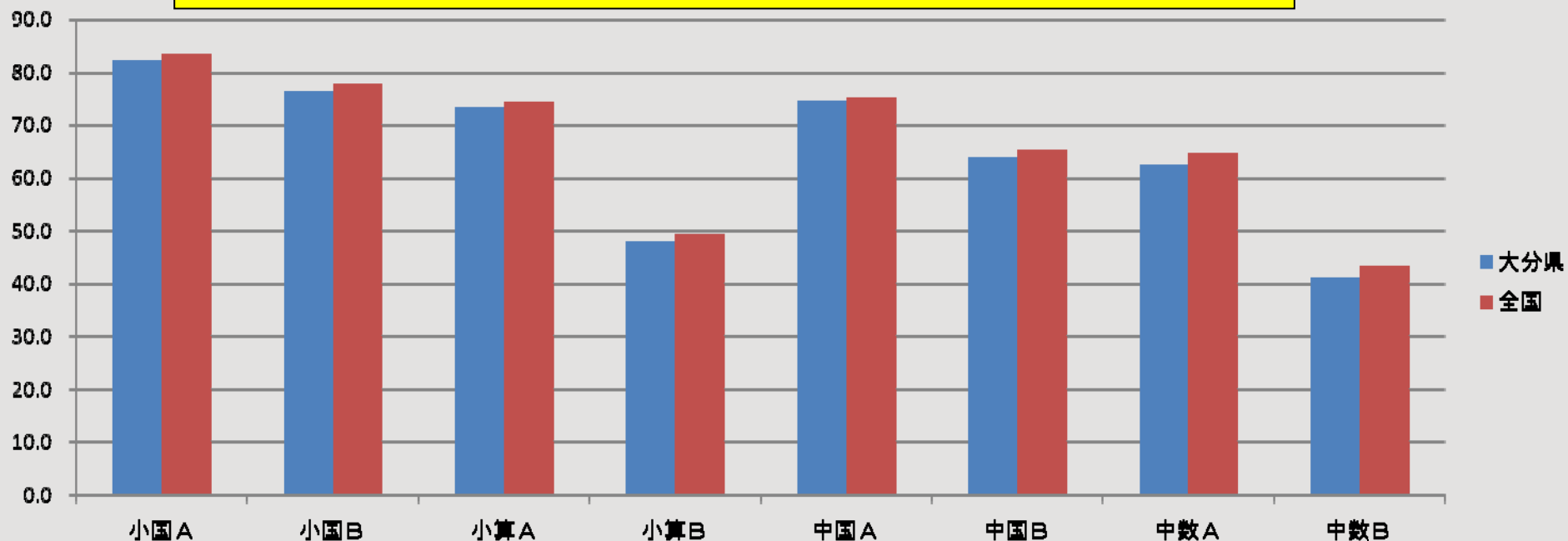


学びと支えのシステムの確立をめざして

H22調査結果からの課題

- ① 全国平均の学力水準が確保されていない教科があること
- ② 特に小学校における各教科の調査結果が全国水準を下回っていること(中学校も同様)

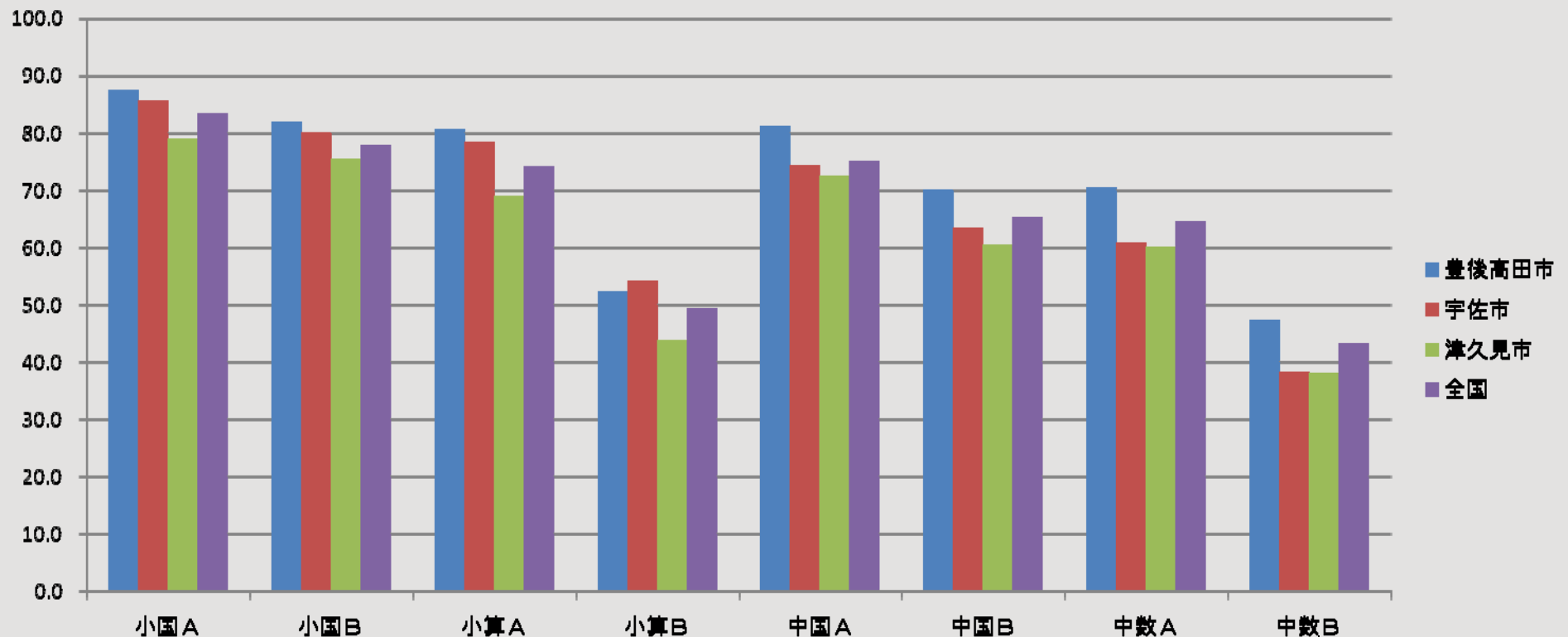
平成22年度調査での大分県の状況



H22調査結果からの課題

- ③ 地域間に学力の定着状況において差異が認められること

平成22年度調査での3市の状況



事業の趣旨

ア 大分県全体で協調して取り組む学力向上対策を推進

- ・下位層の児童が全国に比べ多いことを踏まえ、**児童のつまずきを解消**する県をあげた事業を推進する。(①、②、③)

イ 市町村教育委員会や小・中学校の学力向上の取組が徹底されるように**支援体制**を構築

- ・市町村間での情報共有や、協議ができる**ネットワークづくり**を行うとともに、全県的な視野に立ち、県教育委員会としての指導助言及び支援を行う。(①、②、③)

ウ 各市町村教育員会が独自の**学力向上推進計画**を策定し、取り組む管内の学力向上

- ・市町村教育委員会ごとに、管内の児童生徒の学力の状況を分析し、教員の**授業力向上に係る研修**実施や、**授業改善のための具体的な支援体制づくり**を進める。(③)

大分県の学力向上のアクション

ア 児童のつまずきを
解消する
県をあげた事業
学力向上ステップアップ事業

イ 市町村間
学力向上対策
ネットワーク構築
学力向上支援サイクル
学力向上支援システム

ウ 市町村教育委
員会の学校・教員
への支援体制整備
3市及び連携校の実践

大分県「確かな学力の育成に係る実践的研究支援委員会」 (アクションプラン推進協議会)

【構成】 大学教授等有識者、全18市町村教育委員会、大分県教育委員会

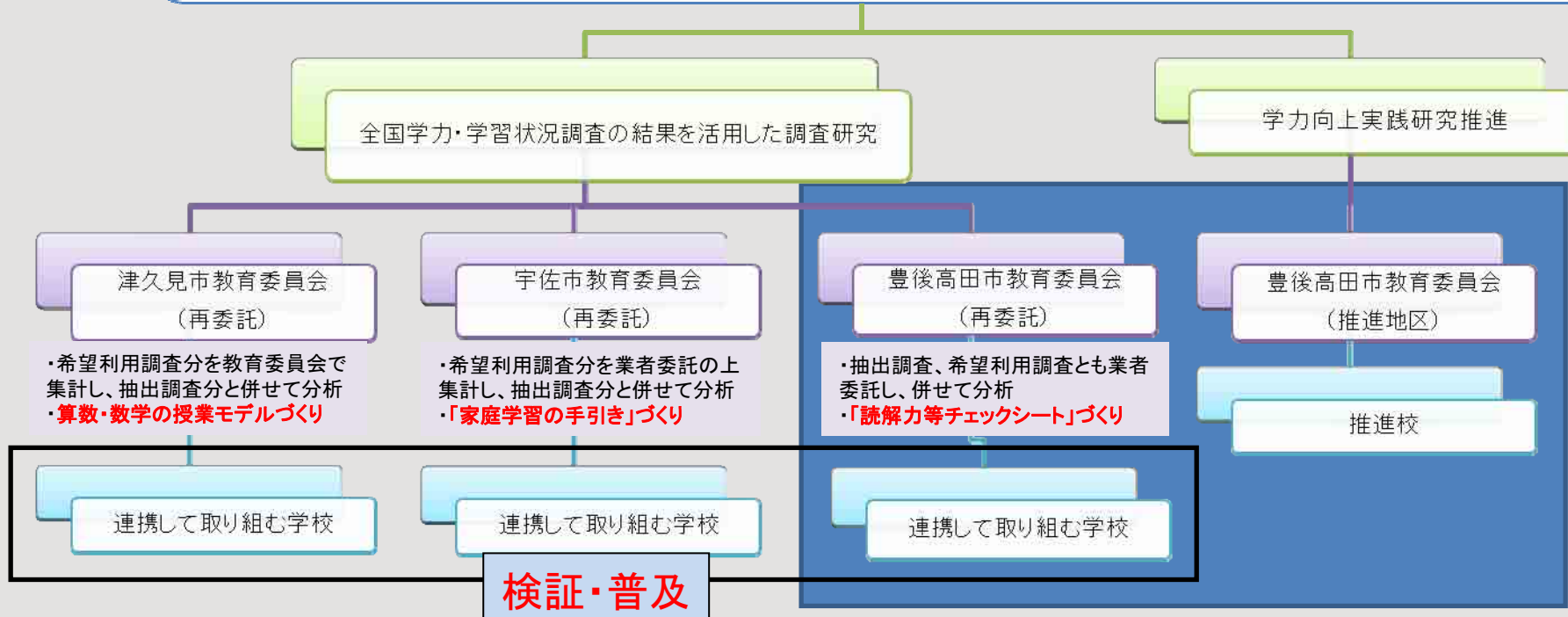
【目的】 ○確かな学力の育成に係る実践的調査研究についての、事業の具体的な内容検討、運営についての指導・助言、研究結果の分析、研究成果の普及を行う。

【内容】 ○全国学力・学習状況調査結果をもとに、域内の学力課題を解決するために策定した学力向上推進計画による確かな学力の育成の在り方について協議する。

- ・3市教育委員会に対し、調査結果の分析や活用についての具体的行動の調査研究を再委託し、研究成果等を県内に普及し、市町村教育委員会の学力向上推進計画の改善を支援する。

- ・公立全小学校で行う「学力向上ステップアップ事業(県費)」の推進及び効果の測定を行う。

○学力向上実践研究推進地区及び推進校の実践的研究を支援するとともに、研究成果を県内に普及する。



学力向上支援サイクル

市町村学力向上推進計画の策定・公表

Plan

アクションプラン推進協議会(1/31)

市町村学校教育主管課長会議(1/14)

- 1 委託先津久見市の取組
- 2 平成23年度の学力向上対策

Do

3月

4月

・学校公開の促進
・校長等による授業観察及び指導の日常化
・学びの教室等地域人材の活用
・学力向上支援教員の活用

全国学力・学習状況調査
基礎・基本の定着状況調査
(4月20日(火)実施)
市町村独自の学力調査等

(Research)

効果測定(アンケート実施)

Action

11月

★学力向上支援システムHPアップ

学力向上対策先進地研修Ⅱ参加者の授業公開

学力向上対策先進地研修Ⅱ(5月)
(秋田県教育専門監(ST)制度視察)

★学力向上ステップアップ事業

市町村学校教育主管課長会議(8/6)

Check

10月

各種調査結果(分析)の公表(9~10月)

アクションプラン推進協議会(10/28)

市町村学校教育主管課長会議(10/26)

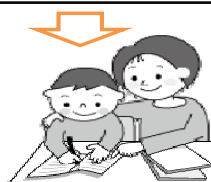
- 1 平成21年度学力向上推進計画の達成状況総括
- 2 平成22年度学力向上推進計画の進捗状況点検・改善
- 3 平成23年度学力向上推進計画の骨子提案(プロポーザル)

学力向上ステップアップ事業

【夏季休業中】

5日間の補充学習（算数を中心）

「教員の指導＋学習サポーターの支援」による
習熟の程度に応じた個別指導



下学年の内容の復習



基礎的・基本的な内容の定着



発展的・応用的な内容への挑戦



学習サポーターによる支援の内容（例）
・採点の補助・児童への励まし・教師への支援等

○児童個々による学習計画例

- 1日目：「図形」の基礎問題
- 2日目：「図形」の基礎問題
- 3日目：「図形」の基礎問題（2回目）
- 4日目：確認テスト、やり直し
- 5日目：「図形」の応用問題。



実施の例

- | | |
|------------|---------|
| 8:30～ 8:40 | 打合せ① |
| | 目標の確認 |
| 8:40～ 9:30 | 学習① |
| 9:30～ 9:40 | 休憩・打合せ② |
| 9:40～10:30 | 学習② |

全小学校で
実施

70%の児童
5日間参加



学力向上支援システム

学力向上支援システム

学力向上支援システム > 小学校_算数科B

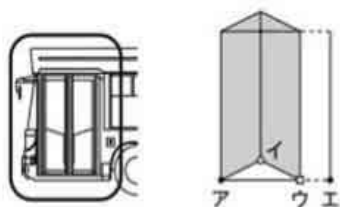
全国学力・学習状況調査 小学校 算数B問題

小学校の算数科における授業改善に役立てていただくため、これまで実施してきた全国学力・学習状況調査の算数科B問題を、1問を1〜2枚にまとめ、そのまま印刷ができるようにしました。また、各年度の「全国学力・学習状況調査の解説資料」をもとに、カテゴリー

小学校_1.選択・短答

学校が学習指導の改善・充実に生かすため全国学力・学習状況調査の算数科・数学科のB問題をまとめ、活用できるようにした。各年度の「全国学力・学習状況調査の解説資料」をもとに、カテゴリー別にまとめ、教師用には正答例もつけた。

平成22年6 事象の観察と論理的な考察(バス)



(1)与えられた条件や図形の定義、性質を基に、図形を判断し、その理由を選択できる。

3年 5年 正答率 ★★★★★☆

(2)示された図や考えを基に、長さの大小を判断し、その判断の理由を記述できる。

5年 正答率 ★★★★★☆

[問題ダウンロード\(PDF:297KB\)](#)

カテゴリ: 小学校_2.記述(理由), 小学校_3.記述(方法), 小学校_図形

平成20年5 事象の理想化・単純化(富士山の気温)



詳細を開く: [平成20年5 事象の理想化・単純化\(富士山の気温\)](#)

再委託先3市の取組（採点業務に関して）

	津久見市	宇佐市	豊後高田市
全国学力調査 の参加態勢	全校参加 ※抽出状況 小 3校／7校 中 3校／5校	全校参加 ※抽出状況 小12校／24校 中 5校／ 7校	全校参加 ※抽出状況 小 3校／11校 中 4校／ 6校
希望利用方式 の採点・集計	教育委員会対応 後に抽出分と合算	業者委託 後に抽出分と合算	業者委託 抽出分も合わせて
学力の状況	小・中とも全国平均を 下回る	小学校は全国平均を 上回る	小・中とも全国平均を 上回る
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域的な学力差の 解消 ・算数・数学の授業 改善の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中の円滑な接続 ・生徒が意欲的に家 庭学習に取り組む 環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識やその活用状 況を踏まえた授業 改善 ・地域と一体となった 教育環境づくり

再委託先3市の取組

	津久見市	宇佐市	豊後高田市
課題	1 地域的な学力差の解消 2 算数・数学の授業改善の促進	1 小・中の円滑な接続 2 生徒が意欲的に家庭学習に取り組む環境づくり	1 知識の定着を踏まえた授業改善 2 地域と一体となった教育環境づくり
取組例1	津久見市学力向上研修会の実施	学力向上・授業力アップ支援チームによる小・中学校に対する支援	「読解力」・「数学的な考え方」を把握するフォローアップシートの作成・活用
取組例2	「津久見市版算数・数学授業モデル」の作成・活用	児童生徒用家庭学習の手引きの作成・活用	「教育のまち 豊後高田市教育ビジョン」の作成・活用
取組の特徴	Speed	Cooperation	General Management

津久見市の平成22年度調査への対応

希望利用分事務局で採点・集計
(全校とも教職員採点・集計)

- ・スピーディーな対応
- ・精度に課題



○提供された抽出調査結果をもとに
再度分析・結果提示(市研修会)

「算数・数学に課題あり！！」

○算数・数学授業モデルづくり

Speed

津久見市版 算数・数学授業モデル

基礎的・基本的な知識・技能の
習得をめざして

過程		内容		教師の動き		留意点	
事前	つかむ	つけるべき力を確認する 本単元に関する実態把握をする	本学年で、何がどこまでできればよいかをつかむ。 各観点別評価規準を作成し、評価計画を立てる。 使用する教材・教員を検討・吟味する。 プレテストによりつまずきを把握する。 つまずき解消のために家庭学習と事前指導を行う。	「学習指導要領解説」 「評価規準作成のための資料」 「指導書」を参照 単元前（下学年の系列内容） 補助教材の使用を検討			
導入	であう	①本時の学習内容・めあてを理解させる ②本時の主眼に迫る課題（主発問）を立てる	①学習の姿勢をつくる。 ①問題の提示（フレート・枠・色・位置）。 ①興味・関心・意欲を高める提示の工夫をする。 ①どんな問題か意味をつかませる。 ②問題を解決するために、何について考えればよいかをはっきりさせる。フレート・枠・色・位置。 ②まよりのキーワードを導く言葉で課題を立てる。	・姿勢・用具の指導 ・問題解決的な提示（生活や経験とつながる・実物等） ・板書と同時に書くノート指導（枠・色・定規・位置） 			
展開	見通す 解決する	③どうやって考えればよいか見通しを立てる ④自分の力で問題を考えさせる ⑤考えたことを発表させ、違いやよさを話し合わせる 	③既習事項を思い起こさせ、活用させる。 ③表現方法を示唆する（絵・図・表・グラフ・式・ことば）。 ③見通しを立てるのに困っていないか観察・指導。 ④具体的な操作活動の教具を準備。 ④考える時間の確保。 ④考えたことを書き留める工夫。 ④机間指導で子どもの考え方を見取り、出し合う場面で生かすために座席表を使ってチェック。 ④机間指導でつまずきを見取り、支援。 ⑤学習のねらいに即して学習形態を工夫。 ・班活動をさせる場合 ・5W1Hを活動前にはっきり指示。 ・最後は個に返し無理に班で意見をまとめない。 ⑤判断基準の提示。 ⑤図式化・簡潔化等の比べやすい板書の工夫。 ⑤発表での述べ方指導。 *接続詞の使い方（頭括弧）。 *用語の使用推奨。	・簡潔に示す ・学習物（模造紙等）を掲示 ・全員が取り組めるようにする（個別・全体指導・教え合い） 他のクラスや次年度に使い回す 机の配置・タイマーの利用 ワークシート・ホワイトボード 考えた跡を消さない指導 終わった場合の事前指示 つまずきの場合の事前指示（個別・全体指導・教え合い） （個別・全体指導・教え合い） ペア・班・全体で比較検討 5W1Hの内容 目的・テーマ・係（進行・記録）、 タイマー、進行シナリオ等 「はかせ」遠く簡単に「正確に」と既習事項を生かした考え方を基準に それぞれの考え方の特徴の提示 述べ方指導「まず、次に、最後に、だから」			
終末	見取る まごめる	⑥課題のことばに応じたまごめを板書する ⑦確認テストで習得したかを見取る 	⑥まよりの板書（フレート・枠・色・位置）。 ⑥ポイントやキーワードを必要に応じて板書。 ⑥時間不足でも、そこまでのまごめをする。 ⑦採点時間までの余裕をもつ。 ⑦全員が習得すべき内容を出題。 ⑦説明などの記述問題も内容に応じて取り入れる。 ⑦のふり返り用紙とはねらいが異なる。主に「知識理解」の評価に生かす。	子どもたちの言葉を生かしつつ、適切なことばでまごめる。 ノート指導（枠・色・定規・位置） 見開き1ページ。 ITやAT等の活用 B6版の白紙を用意して出題 問題数の目安は2問以内 ふり返り用紙は「関心・意欲態度」の評価に生かす 終わった場合の事前指示（三二） 先生・宿題の指示等）			
事後	定着	宿題指導を継続徹底	反復により定着させる。 ・当日課題（宿題） 授業内容から出題。 ・週末課題（宿題） 活用問題も出題。 ・単元末課題（宿題） 基礎から応用へ。 点検・指導を粘り強く続ける。 補充指導の実施。 学力向上支援システムの利用。	・当日課題の1問は予習を兼ねた 次時の予告問題にする ・全教科の総量を考慮 単元のごとくつまずいたかを点 検・指導 朝学習・下校前等の個別指導			

豊後高田市の平成22年度調査への対応

全児童生徒分業者委託(市単費)

- ・全体値の把握
- ・初期対応に課題



- 学校ごとに対応
- 市をあげた学力向上対策
「教育ビジョン」作成
- 「読解力」「数学的な考え方」が弱い！！
「フォローアップシート」作成・活用

General Management



PT会議でビジョン作成



連携校でフォローアップシート活用

宇佐市の平成22年度調査への対応

希望利用分業者委託(市単費)

- ・学校の負担軽減
- ・採点集計精度の向上が課題



○提供された抽出・希望調査結果をもとに
再度分析(推進支援チーム会議)

「専門家からの助言」をもとに対策検討



○中学校の授業改善を

○家庭学習の習慣化に課題が！

「家庭教育のすすめ」作成



学力向上・授業力アップ推進支援チーム



小・中9年間の確かな
学びを支えるプログラ
ムを小・中が連携して
取り組むことが大切だ。



Cooperation

授業改善（連携校で実践公開）

授業レシピ（社会科） 平成22年6月29日 【習得型】

授業者 安部 卓明
授業クラス 1年2組

1. 題材	地域の自然を生かした生活
2. ねらい	地域の自然環境の状況を通して、 その土地利用の効率の良さと理解ができる。
3. つけたい力	地域の諸事象と使置空間とのかかわり（態度） とらえる
4. 授業の流れ（学習者の立場で、学習の柱を書く。）	
① 目標	自然をどのように生かしているか調べよう。
② 課題	岩手県の土地利用を見て岩手県民の工夫を見つけよう
③ まとめ	日本では多くの産業が上手な土地利用をしている。 ↓ ・山地が多く平地面積が少ないことをカバーするため、 ・経費の削減、利潤の追求

*中心となる学習活動は —— で囲む。 [次回] 特色を生かした工業

(授業を見合うときの視点) (評価)

土地利用の工夫を見つけることができているか。



Cooperation

学校単位で作成した「家庭学習のすすめ」



小学校ごとの実践は進んでいたが...

「家庭教育のすすめ」編集会議(教務主任)



Cooperation

「うさっ子」家庭教育のすすめ

宇佐市教育
委員会

テレビに負けない

教育の原点は「家庭」にあります。子どもの教育は家庭から始まり、家族との温かい関わりや体験を通して多くのことを学び、たくましく成長します。

ところが最近、「うさっ子はテレビを見る時間が県や全国の子どもたちより長い」「朝からあくびをしている子が多い」など、子どもたちの様々な課題が指摘され、家庭の学習面でも「学ぶ習慣は身に付いているのか?」「学習時間は確保できているか?」などと、問われています。

この「家庭教育のすすめ」は、各家庭で協力して取り組んでいただきたい生活習慣の大切なことを集めています。

保護者の皆様にご趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いし、子どもたちの家庭教育がさらに充実するように、ご活用いただければ幸いです。

「当たり前」のことが「当たり前」にできる

皆さんの家で、学校で、地域でこんな「うさっ子」に育てましょう!

- ・あいさつをする
- ・人の話を聞く
- ・正しい言葉遣いをする
- ・時間を守る
- ・くつをそろえる
- ・そうじをする など

家庭教育の つぼ! 5か条



1

テレビやゲームは時間を決めて!

テレビやゲームに夢中になって、だらだらと時間が長くなることがあります。家族の協力も大切です。

2

子どもにも家事を!

家庭で、子どもにできる仕事をさせてください。家族の一員としての自覚が育ち、学習に必要な持続力・集中力が育ちます。

3

勉強時間を決めて!

その日の予定を立て、見通しを持って学習させましょう。必ず学習する時間帯を設定させましょう。

4

最後までやり終える!

「宿題は最後までやること」を守らせましょう。おうちの方も励まして、見てあげて、一緒に根比べです。

5

あいさつや会話を大切に!

「おはよう」「行ってらっしゃい」「おかえり」のあいさつはもちろん、将来の夢や進路を楽しく話し合しましょう。

成果指標及び達成状況

○ステップアップに参加した児童の算数好き度
現況(H22.4) 目標 達成状況(H22.12)

67.4% → 80%以上 → **80.2%**

○ステップアップに参加させた保護者の満足度
現況 目標 達成状況(H22.12)

(未調査) → 90%以上 → **92.4%**

※県教育委員会の学校支援に対する満足度
目標(3.0以上)

学校 **3.3** 市町村教育委員会 **3.4**

大分県の来年度構想

成果の普及を図る

学力向上支援サイクル(案)

	主管課長会議	主な内容	会場
4/22	第1回会議	事業説明及び協議	県庁
6月	第2回会議	市町村の取組事例(学校公開)及び協議(協議事項事前調査)	公募
8月	第3回会議	H23全国学力調査結果の概要報告及び協議	県庁
11月	第4回会議	市町村の取組事例(学校公開)及び協議(協議事項事前調査)	公募
1月	第5回会議	H24事業概要説明	県庁
2月	第6回会議	協議(H24学力向上対策)	県庁

	「支援教員」協議会	主な内容	会場
5/13	第1回協議会	事業説明及び事例報告	県庁
7月	第2回協議会	互見授業(会場校授業公開)、協議(事例報告、2学期への課題)	公募
10月	第3回協議会	学力向上支援教員授業公開、協議(事例報告)	公募
12月	第4回協議会	互見授業(会場校授業公開)、協議(事例報告、3学期への課題)	公募

※OJT 年間5回の授業公開＋巡回指導

大分県の来年度構想

学力向上支援システムの本格稼働・活用

活用事例を公開

5. 本時案

(1) 題目 くさび形の面積の求め方を考えよう。
(2) 目標 くさび形の面積を、等積変形するとひし形や二等辺三角形になることに目を向け、ひし形や三角形の面積の公式で求積することができる。

(3) 展開

活動	時	指導及び支援	評価・備考
1. 前時までの学習を想起する。	5	○これまでどのような考え方で、面積を求めてきたか想起させる。 ・等積・倍積変形や分割をして、習った図形に変形して考えた。 ・「習ったことを生かす」大切さをおさえる。	
2. 本時の課題をとらえる。		○課題を提示する。 くさび形の面積の求め方を考えよう。	
3. くさび形の面積を求める。	5	○くさび形の特徴をワークシートに書かせる。 ・三角形が二つ ・大きい三角形から小さい三角形をひいた形	7-170)
	15	○くさび形の特徴が、解決の共通しなることをおさえる。 ○くさび形の作業用紙を与え、操作活動をさせながら考えさせる。 ○相手にわかりやすく説明するために、求める手順を図や言葉で関連づけた説明を考えさせる。	(2) 評価 観察7-170) 【資料活用: 7)

(予想される児童の考え)

学力向上支援システム

学力向上支援システム > 小学校_算数科B

全国学力・学習状況調査 小学校 算数B問題

小学校の算数科における授業改善に役立てていただくため、これまで実施し、使いやすいように、1問を1〜2枚にまとめ、そのまま印刷ができるようにしました。また、各年度の「全国学力・学習状況調査の解説資料」をもとに、カテゴリー

小学校_1.選択・短答

授業改善



研究協議



授業公開(活用事例)

ご清聴ありがとうございました